

令和6年 仲卸業者の経営状況（概要）

【調査方法】

令和7年9月までに提出された仲卸業者の事業報告書（令和6年1月1日から令和6年12月31日までに終了した事業期間に係わるもの）をもとに、企業会計原則等に基づき修正し集計した。

サンプル数：817社（水産物476社、青果物282社、花き36社、食肉23社）

【ポイント】

- 1社当たりの売上高は7.4%増加、増収業者の割合は74.3%→58.0%と減少

<取扱品目別1社当たり売上高の増減>

	令和5年	令和6年	対前年比
全 体	109,063 万円	117,159 万円	107.4%
水 産 物	63,741 万円	68,081 万円	106.8%
青 果 物	159,353 万円	173,971 万円	109.2%
花 き	108,433 万円	105,677 万円	97.5%
食 肉	430,413 万円	454,252 万円	105.5%

- 営業損益及び経常損益の黒字計上業者の割合はいずれも増加

- ・ 売上総利益率では全体の62.3%の業者が上昇し、前年（49.3%）に比べ、その割合は増加した。
- ・ 営業損益では黒字の業者が全体の53.0%→65.9%、経常損益では黒字の業者が全体の68.1%→77.2%と、いずれも前年に比べその割合は増加した。

- 借入金比率は44.8%→40.0%と減少

- ・ 全体の10.0%（前年10.0%）の業者が無借金経営をしている一方で、22.6%（前年25.7%）の業者は借入金比率が100%を超えており、債務負担は依然として大きい。

<取扱品目別の借入金比率>

	令和5年	令和6年	増減
全 体	44.8%	40.0%	▲4.8%
水 産 物	56.6%	49.9%	▲6.7%
青 果 物	34.0%	30.1%	▲3.9%
花 き	43.0%	40.7%	▲2.3%
食 肉	50.8%	49.6%	▲1.2%

○ 「経営の健全性に関する指標（※）」に該当する業者割合は減少

（※）経営の健全性に関する指標

①流動比率 100%未満、②自己資本比率 10%未満、③3期連続経常損失のいずれかに該当

- ・ 「経営の健全性に関する指標」に該当する業者は全体で前年 415 業者 (52.6%) →367 業者 (47.0%) と、前年より 5.6 ポイント下回っている。

<指標該当業者数>

	該当業者数	上 記 指 標			全ての指標 に該当	調査対象 業者(注)
		流動比率 100%未満	自己資本比率 10%未満	3期連続 経常損失		
全 体	367 業者[47.0%] (415 業者)	169 業者 (170 業者)	324 業者 (359 業者)	97 業者 (164 業者)	41 業者 (66 業者)	781 業者 (789 業者)
水 産 物	240 業者[52.2%] (276 業者)	119 業者 (124 業者)	210 業者 (237 業者)	65 業者 (124 業者)	25 業者 (51 業者)	460 業者 (467 業者)
青 果 物	104 業者[39.7%] (113 業者)	44 業者 (40 業者)	92 業者 (97 業者)	28 業者 (39 業者)	14 業者 (14 業者)	262 業者 (262 業者)
花 き	17 業者[47.2%] (19 業者)	5 業者 (5 業者)	16 業者 (18 業者)	4 業者 (1 業者)	2 業者 (1 業者)	36 業者 (36 業者)
食 肉	6 業者[26.1%] (7 業者)	1 業者 (1 業者)	6 業者 (7 業者)	0 業者 (0 業者)	0 業者 (0 業者)	23 業者 (24 業者)

(注) 令和4年、令和5年、令和6年の3期連続して事業報告書が提出された業者

※ []内パーセンテージは全体又は取扱品目ごとの調査対象業者に占める上記指標該当業者の割合

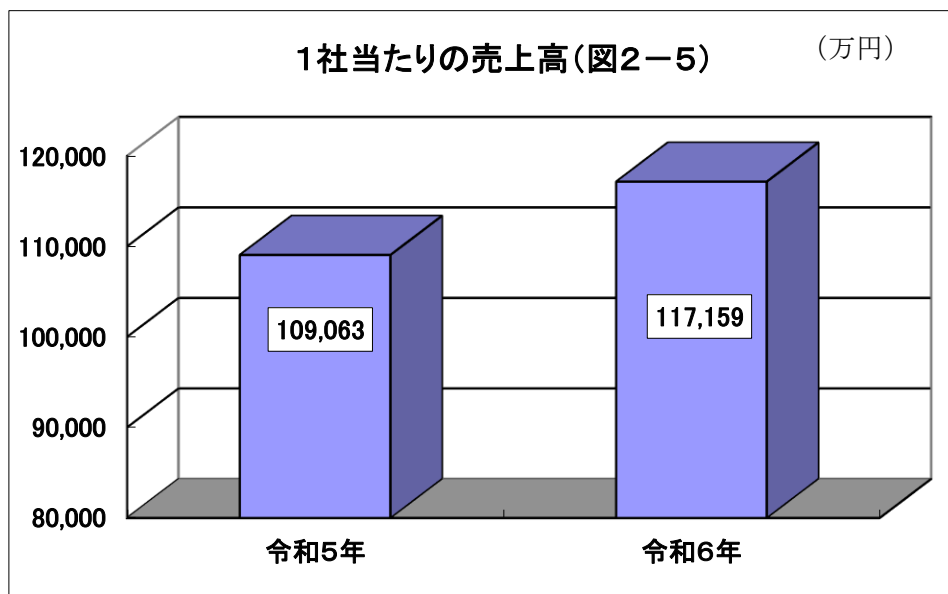
※ 下段 () 内は前年の調査結果

【概要】

1 1社当たりの売上高は増加

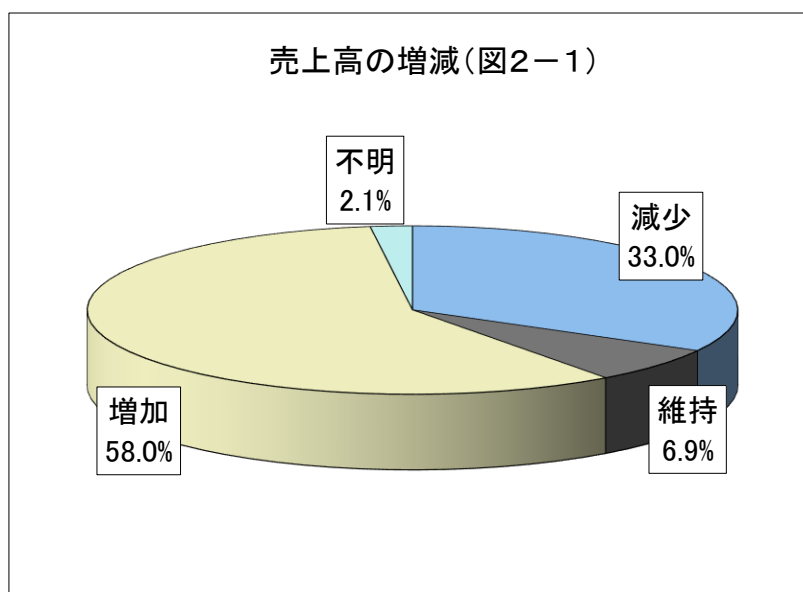
仲卸業者全体の1社当たりの売上高は、前年の10億9,063万円から11億7,159万円と、8,096万円（7.4%）増加した。

取扱品目別にみると、前年に比べ、水産物、青果物及び食肉において増加したが、花きにおいて減少した。



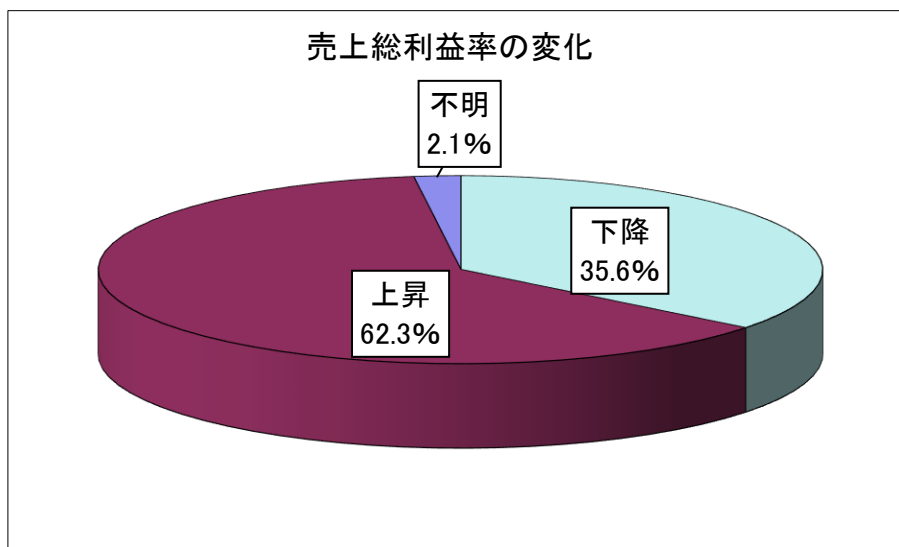
2 売上増加となった業者の割合が全体で減少

売上高が増加した業者は、全体の58.0%（前年74.3%）であった。取扱品目別に増加した業者の割合をみると、水産物は57.1%（前年84.8%）、青果物は63.8%（前年59.4%）、花きは30.6%（前年56.8%）、食肉は47.8%（前年66.7%）となっており、水産物、花き及び食肉において増収となった業者の割合が前年と比べ減少した。



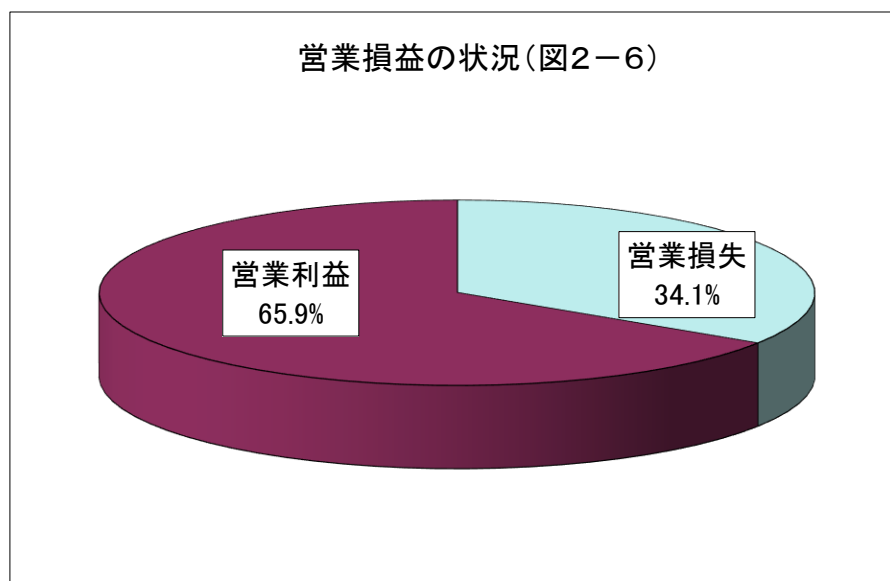
3 売上総利益率は上昇した業者が下降した業者を上回る

売上総利益率が上昇した業者は全体で62.3%と下降した業者を上回った。取扱品目別に売上総利益率が上昇した業者の割合をみると、水産物は71.8%、青果物は45.4%、花きは63.9%、食肉は69.6%と、水産物、花き及び食肉では上昇した業者数が下降した業者数を上回り、青果物では下降した業者数が上昇した業者数を上回った。



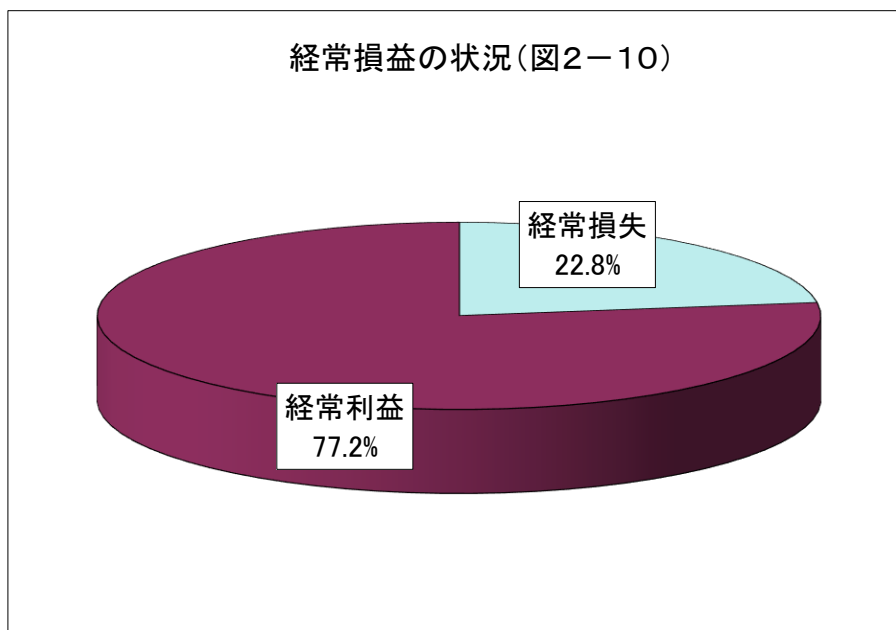
4 営業損益は黒字計上業者の割合が増加

営業利益(黒字)を計上した業者の割合が65.9%(前年53.0%)、営業損失(赤字)を計上した業者の割合が34.1%(同47.0%)となり、前年に比べ黒字となった業者の割合が増加した。取扱品目別にみると、全ての品目において半数以上の業者が黒字となった。



5 経常損益は8割弱が黒字計上

経常利益(黒字)を計上した業者の割合は77.2%、経常損失(赤字)を計上した業者の割合は22.8%と、前年に比べ黒字業者の割合が9.1ポイント上昇した。前年と比較すると、水産物(前年62.0%→当年77.1%)(以下同様)、青果物(76.9%→78.0%)、花き(67.6%→66.7%)及び食肉(87.5%→87.0%)と水産物及び青果物では黒字業者の割合が増加し花き及び食肉では黒字業者の割合が減少した。



6 借入金比率100%以上の業者の割合は25.7%→22.6%と減少

借入金比率別にみると、無借金経営(借入金比率0%)の業者が82社(10.0%)あった。一方、借入金比率100%以上の業者が185社(22.6%)あり、前年(25.7%)に比べるとその割合は減少した。

また、取扱品目別にみると、借入金比率が100%以上の業者の割合は、水産物では26.1%、青果物では19.1%、花きでは16.7%、食肉で4.3%であった。

